

鶏卵輸出準備分科会/ご入会のススメ

昨年 1 月に発足した鶏卵輸出準備分科会（以下、分科会）は、「日本のたまご」輸出拡大のために、この 1 年間で以下の様な活動を行ってきました。

① 鶏卵統一ロゴマークの作成と普及活動

- ・「日本のたまご」を象徴するロゴマーク及びキャッチコピー作成、普及や商標登録
- ・ロゴマークを普及させるためのポスター、外食店向けプレート等の配布
- ・輸出用段ボールへのロゴマーク印刷、ロゴマーク印刷したインパックラベルの配布

② 輸出国調査

- ・香港、台湾で現地調査会社による鶏卵流通事情調査レポート作成
- ・分科会会員による香港、台湾での現地調査
- ・香港ではロゴマーク表示卵の試行的輸出



③ 海外での鶏卵輸出拡大のための促進活動

- ・香港フードフェスティバルでのブース出展、試食を含むセミナーによる PR
- ・香港で「日本のたまご」料理セミナーを現地ブロッガー向けに開催。
- ・シンガポールでは 2 回に渡り日本の畜産物の販売促進をアピールするフェアに出展

27 年度において分科会会員が行った海外出張は以下となります。(述べ 34 名)

平成 27 年

8 月	香港	7 名	輸出先国調査
9 月	ミラノ	1 名	ミラノ万博調査
11 月	香港	4 名	試行的輸出調査
12 月	香港	6 名	香港フードフェスティバル

平成 28 年

1 月	シンガポール	2 名	日本食フェア
2 月	台湾	10 名	輸出先国調査
3 月	香港	3 名	セミナー開催
3 月	シンガポール	1 名	ミニフェア

日鶏協回覧板

平成 28 年 3 月 22 日

一般社団法人 日本養鶏協会

これらの事業は平成 27 年度畜産物輸出特別支援事業によるものであり、分科会会員が手分けして行いました。分科会会員数も昨年 6 月の年次総会当時の 32 法人から現在では 43 法人にまで増加しました。但し会員で香港向け輸出を行っているにも関わらず、ロゴマーク表示をされていない方や、既に香港向け輸出を行っているのですが分科会会員になられていない方々も多くおり、ロゴマークの普及はまだまだスタートしたばかりという様相です。

先日、調査で訪問した台湾の輸入業者の方よりは、「日本のたまご」の優位性を示すためにも、是非ロゴマークを付けた「日本のたまご」を輸出して欲しい、との要請がありました。当分科会としては一層のロゴマークの普及に努めるとともに、広く会員の募集を続けていきます。特に 28 年度においては、27 年度以上に海外での「日本のたまご」販売促進活動を行っていきます。これらの販促活動は分科会が中心となって、しっかりと企画をたて、「日本のたまご」販売に関わる方々が一致団結して実行していかなければなりません。またそのための一層のマnpワ-も必要となっています。

また 28 年度においては、将来の鶏卵輸出可能国へのアプローチも行います。例えばロシア（沿海州）、フィリピン、マカオ、米国、UAE 向けの輸出の可能性を検討しますが、これらの国々への実地調査も重要であり、28 年度には行いたいと考えております。

- ・既に香港、シンガポール、台湾向けに輸出をされておられるにも関わらず、まだ会員になられていない生産者/流通業者/輸出業者/周辺業者の方々
 - ・鶏卵輸出に興味をお持ちの方
 - ・鶏卵の需要拡大に意欲をお持ちの方
- には是非分科会にご加入の程、お願い致します。

【問合せ先】

日本畜産物輸出促進協議会 鶏卵輸出準備分科会 事務局

日本養鶏協会内 担当島田

電話 (03)3297-5515 メール fuwatama@jpa.or.jp

【日鶏協回覧板】 発行者：一般社団法人 [日本養鶏協会](#)

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目 6 番 1 6 号馬事畜産会館内 (5 階)

TEL : (03) 3297-5515 FAX : (03) 3297-5519 発行日 2016 年 3 月 22 日

編集・発行責任者：島田博 (fuwatama@jpa.or.jp)